



## T コマンド

---

この章では、コマンド名が T で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

# tag

ポリシー内の複数のイベントを相互に関連付けるには、**tag** コマンドを使用します。

```
tag tag {and | andnot | or} tag [and | andnot | or {tag}] {happens occurs in seconds}
```

## 構文の説明

<i>tag</i>	タグ名。タグの名前には任意の 29 文字の英数字を使用できます。
<b>and</b>	(任意) ブール値の <b>and</b> ロジックを使用するように指定します。
<b>andnot</b>	(任意) ブール値の <b>andnot</b> ロジックを使用するように指定します。
<b>or</b>	(任意) ブール値の <b>or</b> ロジックを使用するように指定します。
<b>happens</b>	イベントを生成する前の発生数を指定します。
<b>in</b>	発生数がこの期間内に発生しなければならないことを指定します。
<i>occurs</i>	イベントが発生する回数。指定できる範囲は 1 ~ 4294967295 です。
<i>seconds</i>	次のイベントが発生する時間 (秒単位)。範囲は 0 ~ 4294967295 秒です。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

(config-applet)

## サポートされるユーザ ロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、ポリシー内の複数のイベントを相互に関連付ける例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# event manager applet "monitorShutdown"
switch(config-applet)# description "Monitors interface shutdown."
switch(config-applet)# event cli match "shutdown"
switch(config-applet)# tag one or two happens 1 in 10000
switch(config-applet)# action 1.0 cli show interface e 3/1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show flow exporter</b>	NetFlow エクスポートに関する情報を表示します。

# template data timeout

NetFlow エクスポートのテンプレート データ タイムアウト パラメータを設定するには、**template data timeout** コマンドを使用します。テンプレート データ タイムアウト パラメータを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**template data timeout** *time*

**no template data timeout** [*time*]

## 構文の説明

*time* (任意) 時間 (秒単位)。範囲は 1 ~ 86400 です。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

NetFlow エクスポート バージョン 9 コンフィギュレーション (config-flow-exporter-version-9)

## サポートされるユーザ ロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、テンプレート データ タイムアウト パラメータを設定する例を示します。

```
switch(config)# flow exporter Netflow-Exporter-1
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)# template data timeout 120
```

次に、テンプレート データ タイムアウト パラメータの設定を削除する例を示します。

```
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)# no template data timeout 120
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show flow exporter</b>	NetFlow エクスポートに関する情報を表示します。

# terminal event-manager bypass

Embedded Event Manager (EEM) ポリシーを満たす CLI コマンドの実行を継続することを許可するには、**terminal event-manager bypass** コマンドを使用します。このようなコマンドの実行を拒否するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**terminal event-manager bypass**

**terminal no event-manager bypass**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## サポートされるユーザロール

network-admin  
network-operator  
vdc-admin  
vdc-operator

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、EEM ポリシーを満たす CLI コマンドの実行を継続することを許可する例を示します。

```
switch# terminal event-manager bypass
switch#
```

次に、EEM ポリシーを満たす CLI コマンドの実行を継続することを拒否する例を示します。

```
switch# terminal no event-manager bypass
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>event manager policy</b>	Embedded Event Manager (EEM) ポリシーを EEM に登録します。

# test watchdog

ウォッチドッグ機能をテストするには、**test watchdog** コマンドを使用します。

## test watchdog

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

任意のコマンドモード

### サポートされるユーザロール

network-admin  
network-operator  
vdc-admin  
vdc-operator

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

### 例

次に、ウォッチドッグ機能をテストする例を示します。

```
switch(config)# test watchdog
Warning: This command will reboot the system if watchdog is functioning properly
.
Do you wish to proceed anyway? (y/n)
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>system watchdog</b>	ウォッチドッグ機能をイネーブルにします。
<b>system no watchdog</b>	ウォッチドッグ機能をディセーブルにします。

# transport email mail-server

最大 5 個までの SMTP サーバを、Call home のドメイン ネーム サーバ (DNS) 名、IPv4 アドレス、または IPv6 アドレスとして設定するには、**transport email mail-server** コマンドを使用します。

```
transport email mail-server ip-address [port port-number] [priority priority-number]
[use-vrf vrf-name]
```

## 構文の説明

<b>ip-address</b>	ドメイン ネーム サーバ (DNS) 名、IPv4 アドレス、または IPv6 アドレス。
<b>port</b> <i>port-number</i>	(任意) ポート番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。デフォルトのポート番号は 25 です。
<b>priority</b> <i>priority-number</i>	(任意) SMTP サーバのプライオリティを指定します。指定できる範囲は 1 ~ 100 です。1 は最高のプライオリティを、100 は最低のプライオリティを示します。プライオリティを指定しない場合、デフォルト値の 50 が使用されます。
<b>use-vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよびフォワーディング) の名前を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

Call home コンフィギュレーション

## サポートされるユーザ ロール

network-admin  
network-operator  
vdc-admin  
vdc-operator

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

Call home には最大 5 個までの SMTP サーバを設定できます。**transport email mail-server** コマンドで指定された VRF は、HTTP を使用したメッセージの送信には使用されません。CFS 配布がイーネブルの場合、Release 4.2 以前を実行するデバイスは **transport email smtp-server** コマンド コンフィギュレーションのみを受け付けます。一方、リリース 5.0(1) 以降を実行するデバイスは、**transport email smtp-server** および **transport email mail-server** コマンド コンフィギュレーションの両方を受け付けます。

デバイスが **transport email smtp-server** コマンドと **transport email mail-server** コマンドの両方を受け入れると、**transport email smtp-server** コマンドはのプライオリティは 0 になり、最高のプライオリティになります。このコマンドで指定されたサーバは最初に試行され、次に、**transport email mail-server** コマンドで指定されたサーバが、プライオリティの順に試行されます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、複数の SMTP サーバを Call home メッセージに設定する例を示します。

```
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# transport email mail-server 192.0.2.1 port 33 priority 1 use-vrf
Red
switch(config-callhome)# transport email mail-server 192.0.2.10 priority 4
switch(config-callhome)# transport email mail-server 172.21.34.193
switch(config-callhome)# transport email smtp-server 10.1.1.174
switch(config-callhome)# transport email mail-server 64.72.101.213 priority 60
switch(config-callhome)# transport email from person@company.com
switch(config-callhome)# transport email reply-to person@company.com
switch(config-callhome)#
```

上記のコンフィギュレーションに基づいて、SMTP サーバはこの順序で試行されます。

10.1.1.174 (プライオリティ 0)

192.0.2.1 (プライオリティ 1)

172.21.34.193 (プライオリティ 50、デフォルト)

64.72.101.213 (プライオリティ 60)

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>transport http use-vrf</b>	VRF を HTTP を使用して Call home メッセージを送信するように設定します。
<b>transport email smtp-server</b>	リリース 4.2 以前のリリースを実行するデバイスに、SMTP サーバ設定を配布します。

# transport http proxy enable

Smart Call Home が HTTP プロキシ サーバを介してすべての HTTP メッセージを送信できるようにするには、**transport http proxy enable** コマンドを使用します。

## transport http proxy enable

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

ディセーブル

### コマンド モード

Call home コンフィギュレーション モード (config-callhome)

### サポートされるユーザ ロール

network-admin  
vdc-admin

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

プロキシ サーバアドレスが設定された後にだけ、このコマンドを使用できます。

プロキシ サーバを経由してメッセージを転送するために使用する仮想ルーティング/転送 (VRF) インスタンスは、**transport http use-vrf** コマンドを使用して設定したものと同じです。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

### 例

次に、Smart Call Home で、HTTP プロキシ サーバ経由ですべての HTTP メッセージを送信できるようにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# transport http proxy server 192.0.2.1
switch(config-callhome)# transport http proxy enable
switch(config-callhome)#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>transport http proxy server</b>	HTTP プロキシ サーバのドメイン ネーム サーバ (DNS) の名前、IPv4 アドレス、または IPv6 アドレスを設定します。
<b>show callhome transport</b>	Smart Call Home に対する転送関係のコンフィギュレーションを表示します。



# transport http proxy server

HTTP プロキシ サーバのドメイン ネーム サーバ (DNS) 名、IPv4 アドレス、または IPv6 アドレスを設定するには、**transport http proxy server** コマンドを使用します。

**transport http proxy server** {*ip-address* | *proxy-server-name*} [**port** *port-number*]

構文の説明	
<i>ip-address</i>	プロキシ サーバの IPv4 または IPv6 アドレス。
<i>proxy-server-name</i>	プロキシ サーバの DNS 名。
<b>port</b> <i>port-number</i>	(任意) ポート番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。デフォルトのポート番号は 8080 です。

**デフォルト**      ディセーブル

**コマンド モード**      Call home コンフィギュレーション モード (config-callhome)

**サポートされるユーザロール**      network-admin  
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**      このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

**例**      次に、HTTP プロキシ サーバの DNS 名、IPv4 アドレス、または IPv6 アドレスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# transport http proxy server http://www.yoursite.com port 5050
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>transport http proxy enable</b>	Smart Call Home で、HTTP プロキシ サーバ経由ですべての HTTP メッセージを送信できるようにします。
	<b>show callhome transport</b>	Smart Call Home に対する転送関係のコンフィギュレーションを表示します。

# transport http use-vrf

Hypertext Transfer Protocol (HTTP; ハイパーテキスト転送プロトコル) 上での、E メールおよびその他の Call home メッセージを送信に使用される 仮想ルーティングおよびフォワーディング (VRF) インスタンスを設定するには、**transport http use-vrf** コマンドを使用します。

**transport http use-vrf** *vrf-name*

## 構文の説明

<i>vrf-name</i>	仮想ルーティングおよびフォワーディング (VRF) の名前。名前は、最大 255 文字の英数字を指定できます。
-----------------	---------------------------------------------------------

## デフォルト

なし

## コマンドモード

Call home コンフィギュレーション

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、HTTP を使用して Call home メッセージを送信するように VRF を設定する例を示します。

```
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# transport http use-vrf Blue
switch(config-callhome)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>transport email mail-server</b>	複数の SMTP サーバを、Call home のドメイン ネーム サーバ (DNS) 名、IPv4 アドレス、または IPv6 アドレスとして設定します。

# transport udp

NetFlow エクスポートを UDP 上で転送するように設定するには、**transport udp** コマンドを使用します。転送の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**transport udp** *port-number*

**no transport udp** [*port-number*]

## 構文の説明

*port-number* (任意) 宛先 UDP ポート番号

## デフォルト

なし

## コマンドモード

NetFlow エクスポート コンフィギュレーション (config-flow-exporter)

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、NetFlow エクスポートを UDP 上で転送するように設定する例を示します。

```
switch(config)# flow exporter Netflow-Exporter-1
switch(config-flow-exporter)# transport udp 200
switch(config-flow-exporter)#
```

次に、UDP の設定を削除する例を示します。

```
switch(config-flow-exporter)# no transport udp 200
switch(config-flow-exporter)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show flow exporter</b>	NetFlow エクスポートに関する情報を表示します。

